デジタルタトゥーを残さないように注意！

令和8年度
ネットトラブル注意報
第3号

今回のトピック

何気ない一枚の投稿がSNSで拡散され、「炎上」につながるケースが後を絶ちません。炎上した投稿は削除しても完全には消えず、スクリーンショットや転載によってネット上に残り続けます。この「デジタルタトゥー」が、進学や就職の場面で不利益をもたらすことも報告されています。

デジタルタトゥーとは

一度インターネット上に公開された写真や動画、文章が、完全には消せずに長時間残り続けることを指します。本人が削除しても、他の人がスクリーンショットを撮って保存・転載していれば、それを完全に消すことはできません。軽い気持ちでの投稿が、何年も後に自分を苦しめる可能性があります。

あなたは大丈夫？

- ☐ 友達や他人の写真を許可なくSNSに投稿したことがある
- ☐ 「バズりたい」気持ちで過激な投稿をしたことがある
- ☐ 塾やバイト先での不満をSNSに書いたことがある
- ☐ 投稿する前に「誰が見るか」「内容に問題がないか」を考えていない

こんなトラブル

ケース1
友人とふざけて撮った不適切写真を投稿した結果、拡散され、進学先まで知られてしまい進学できなくなった。

ケース2
アルバイト先での悪ふざけ動画を投稿したところ炎上し、個人が特定されてしまった。

ケース3
過去に軽い気持ちで投稿した差別的な発言が数年後に掘り起こされ、就職活動に影響した。

今日からできること

- ✓ 位置情報や居住区がわかるような写真を投稿しない。
- ✓ 他人が写っている写真や情報を勝手に投稿しない。
- ✓ 炎上している投稿を安易に拡散・リポストしない。
- ✓ 後で削除しても、完全に消すことはできず、長時間残ることを理解した上で内容を確認して投稿する。

困ったら

- 保護者
- 学校の先生・スクールカウンセラー
- 法務局 人権相談窓口
- 総務省「インターネット上の書き込みなどに関する相談・通報窓口のご案内」

⚠ 誹謗中傷や個人情報の拡散で困ったときは、一人で抱え込まずすぐに相談してください。

解説動画はこちら

埼玉県教育委員会